職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可	年月日	校县	マ 位			所在地			
日本工学院専門	門学校	昭和51年	7月1日	中村	英詞	〒 (住所)	144-8655 東京都大田区西蒲田	5-23-22			
設置者名		設立認可	年月日	代表	者名	(電話)	03-3732-1111	所在地			
学校法人片柳		昭和25年			茂		144-8655 東京都大田区西蒲田				
分野		認定課程名		認定学科名		(電話)	03-6424-1111	高度専門士認定:	午度 一時	無業宝建市	門課程認定年度
工業		<u> </u>		電子·電気科			22(2010)年度	同及守门工心定。	十及		6(2014)年度
			ス羽化社会	電気工学コー			すけ、職業人としての 自	白色を宝力を萎え まっ	て社会の由		
学科の目的 学科の特徴(取得	電気工学:		と 後省による第 後者の育成	二種電気主任 を目的としてい	技術者の記る。	忍定を受けて	おり、基礎理論から実践				
	第二種電	気工事士、第2級電 者 2名(3.84%)	気工事施工	管理技士補ほ							
修業年限	昼夜	全課程の修了に	必要な総授業 単位数	業時数又は総	講	義	演習	実習	実験	ŧ	実技
2	昼間	※単位時間、単位い かに記入	fh 1,7	70 単位時間	1,620	単位時間単位	単位時間単位	660 単位時間	単	位時間位	単位時間単位
生徒総定員	生徒乳	上 実員(A) 留章	学生数(生徒実		留学生割	#位 則合(B/A)	+12	+12		·iz	+12
240人のうち 数80 人	158人のうち 数58		58人のうち数	改6 人	10	%					
郵X80 * *	■卒業者	·数 (C)	:	20		人					
	■就職希	·望者数(D)	:	20 20		Ž					
	■就職者 ■地元就	·致(E) :職者数(F)	:	12							
	■就職率	(E/D)	本の 型へ /=	100		%					
	■泦職者	に占める地元就職	i右の割合(F	F/E) 60		%					
	■卒業者	に占める就職者の	割合(E/C)	100							
就職等の状況	■進学者			0		<u>%</u> 人					
が収みすい仏派	■その他		· <u> </u>		_	_					
	0人										
	(令和 ニナ か計		業者に関する	5令和7年5月1	日時点の情	f報)					
	■土な汎 (令和6年度	職先、業界等									
			₹、等(相	模鉄道株式会	会社、株式	会社IHI物	充産業システム、一般	財団法人関東電気倪	民安協会、		
	l大和ハウ	ファ業性子会社	キール・エイ								
					東京電力を		ノグス株式会社 等)				
第二老による	■民間の	・ 評価機関等から は、例えば以下につい	第三者評価		東京電力を						
第三者による 学校評価	■民間の ※有の場合	評価機関等から、 例えば以下につい	第三者評価	:			ングス株式会社 等) 無	新結果を掲載した			
	■民間の ※有の場合	評価機関等から	第三者評価	:	東京電力 受審年月:		ングス株式会社 等) 無 評価	m結果を掲載した -ムページURL			
学校評価 当該学科の	■民間の ※有の場合	評価機関等から、例えば以下につい 評価団体:	第三者評価 で任意記載	:	受審年月:		ングス株式会社 等) 無 評価				
学校評価 当該学科の	■民間の ※有の場合	評価機関等から、 例えば以下につい	第三者評価 で任意記載	:	受審年月:		ングス株式会社 等) 無 評価				
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から、例えば以下につい 評価団体: ww.neec.ac.jp/dep	第三者評価 で任意記載	:	受審年月:		ングス株式会社 等) 無 評価				
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から、例えば以下につい 評価団体:	第三者評価 で任意記載	:	受審年月:		ングス株式会社 等) 無 評価		¥	1位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から 、例えば以下につい 評価団体: ww.neec.ac.jp/dep 立時間による算定) 総授業時数	第三者評価 で任意記載 partment/te	:	受審年月: ctronic/	ホールディン	ングス株式会社 等) 無 評価			i位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から、例えば以下につい 評価団体: ww.neec.ac.jp/dep 位時間による算定) 総授業時数 うち企	第三者評価 で任意記載 partment/te 業等と連携	: :chnology/ele	受審年月: ctronic/ g・実技の !	ホールディン	ングス株式会社 等) 無 評価		単		
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から、例えば以下につい 評価団体: ww.neec.ac.jp/dep 位時間による算定) 総授業時数 うち企 うち企	第三者評価 で任意記載 partment/te 業等と連携	: :chnology/ele : : : : : : : : : : : : : : : : : :	受審年月: ctronic/ g・実技の !	ホールディン	ングス株式会社 等) 無 評価		単	i位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から、例えば以下につい 評価団体: ww.neec.ac.jp/dep 位時間による算定) 総授業時数 うち企 うち企	第三者評価で任意記載 partment/te 業等と連携 修授業時数	: :chnology/ele : : : : : : : : : : : : : : : : : :	受審年月: ctronic/ g・実技の対 e時数	で 受業時数	ノグス株式会社 等) 無 評価 ボー		単	位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から、例えば以下につい 評価団体: ww.neec.ac.jp/dep 位時間による算定) 総授業時数 うち企 うち企	第三者評価で任意記載 hartment/te 業等と連携 「修授業時数 うち企ま	: :chnology/ele した実験・実音 した演習の授業	受審年月: ctronic/ g・実技のA g時数	ホールディン 受業時数 食・実習・実	ングス株式会社 等) 無 評価 ホー		東東	位時間位時間位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から、例えば以下につい 評価団体: ww.neec.ac.jp/der 位時間による算定) 総授業時数 うち企 うち企	第三者評価 で任意記載 partment/te 業等と連携 業等と連携 修授業時数 うち企! うち企!	: chnology/ele した実験・実置 した演習の授業 業等と連携した	受審年月: ctronic/ g・実技のわ ki時数 u必修の実験 必修の演習	ホールディン 受業時数 余・実習・実 質の授業時数	ングス株式会社 等) 無 評価 ホー		单 单 单	位時間 位時間 位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から、例えば以下につい 評価団体: ww.neec.ac.jp/der 位時間による算定) 総授業時数 うち企 うち企	第三者評価 で任意記載 partment/te 業等と連携 業等と連携 修授業時数 うち企! うち企!	: chnology/ele した実験・実置 した演習の授事 業等と連携した 業等と連携した	受審年月: ctronic/ g・実技のわ ki時数 u必修の実験 必修の演習	ホールディン 受業時数 余・実習・実 質の授業時数	ングス株式会社 等) 無 評価 ホー		单 单 单	位時間 位時間 位時間 位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携洗した況へのです。	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から、例えば以下につい 評価団体: ww.neec.ac.jp/der 位時間による算定) 総授業時数 うち企 うち企	第三者評価 で任意記載 partment/te 業等と連携 業等と連携 修授業時数 うち企! うち企!	: chnology/ele した実験・実置 した演習の授事 業等と連携した 業等と連携した	受審年月: ctronic/ g・実技のわ ki時数 u必修の実験 必修の演習	ホールディン 受業時数 余・実習・実 質の授業時数	ングス株式会社 等) 無 評価 ホー		单 单 单	位時間 位時間 位時間 位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した表習等の実施状況	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から、例えば以下につい 評価団体: ww.neec.ac.jp/dep 位時間による算定) 総授業時数 うち企 うち企	第三者評価 で任意記載 partment/te 業等と連携 業等と連携 修授業時数 うち企! うち企!	: chnology/ele した実験・実置 した演習の授事 業等と連携した 業等と連携した	受審年月: ctronic/ g・実技のわ ki時数 u必修の実験 必修の演習	ホールディン 受業時数 余・実習・実 質の授業時数	ングス株式会社 等) 無 評価 ホー		東 東 東 東	位時間 位時間 位時間 位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携洗した況へのです。	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から、例えば以下につい 評価団体: ww.neec.ac.jp/der 位時間による算定) 総授業時数 うち企 うち企 くうち 位 を対している。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	第三者評価 て任意記載 partment/te 業等と連携 業等と連携 修授業時数 うち企! うち企! 企業等と連	: chnology/ele した実験・実置 した演習の授事 業等と連携した 業等と連携した	受審年月: ctronic/ 『・実技の校 美時数 - 必修の実易 - 必修の演習 - ンシップの	ホールディン 受業時数 後・実習・実 愛の授業時数) の授業時数)	ングス株式会社 等) 無 評価 ホー		東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携機した況への表である。	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から、例えば以下につい 評価団体: ww.neec.ac.jp/der 位時間による算定) 総授業時数 うち企 うち企 を数による算定)	第三者評価 で任意記載 partment/te 業等と連携 修授業時数 うち企ま うち企ま 全業等と連携	: :chnology/ele した実験・実置 した演習の授業 業等と連携した 業等と連携した ましたインター	受審年月: ctronic/ g・実技の材 e時数 - 必修の実影 - 必修の演習 - ンシップ - シップ - シップ - ・実技の材	ホールディン 受業時数 後・実習・実 愛の授業時数) の授業時数)	ングス株式会社 等) 無 評価 ホー		東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携洗した況へのです。	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から、例えば以下につい 評価団体: ww.neec.ac.jp/der を時間による算定) 総授業時数 うち企 うち企 うち企 うち企 うち企 うち企 うち企 うち企	第三者評価 で任意記載 partment/te 業等と連携 業等と連携 修授業時数 うち企ま うち企ま 企業等と連携 業等と連携	: chnology/ele した実験・実置 した演習の授業 業等と連携した 集等と連携した ましたインター	受審年月: ctronic/ g・実技の材 e時数 - 必修の実影 - 必修の演習 - ンシップ - シップ - シップ - ・実技の材	ホールディン 受業時数 後・実習・実 愛の授業時数) の授業時数)	ングス株式会社 等) 無 評価 ホー		東南東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携機した況への表である。	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から、例えば以下につい 評価団体: ww.neec.ac.jp/der を時間による算定) 総授業時数 うち企 うち企 うち企 うち企 うち企 うち企 うち企 うち企	第三者評価 で任意記載 partment/te 業等と連携 修授業時数 うち企ま うち企ま 業等と連携 修修授業時数	: chnology/ele した実験・実置 した演習の授業 集等と連携した 携したインター した実験・実置 した演習の授業	受審年月: ctronic/ G・実技の材 英時数 必修の実影 - ンシップの	ホールディン 受業時数 食・実習・実 愛の授業時数) 受業時数	プス株式会社 等)無 無 詳値 ホー		東南東南東東京 東京	位時間位時間位時間位時間位時間位時間位時間位時間位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等のと連携地した況への表である。	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から、例えば以下につい 評価団体: ww.neec.ac.jp/der を時間による算定) 総授業時数 うち企 うち企 うち企 うち企 うち企 うち企 うち企 うち企	第三者評価 で任意記載 partment/te 業等と連携 を授業時数 うち企ま うち企ま 業等と連携 修授業時数 うち企ま うち企ま を業等と連携 を修授業時数 うち企ま うち企ま うち企ま	: : : : : : : : : : : : : :	受審年月: ctronic/ 『・実技の材 達時数 - 必修の実影 - 少シップの 『・実技の材 ・ 実技の材 ・ 必修の実影 ・ 実技の材 ・ といる。 では、	ホールディン 受業時数 ・実習・実 の授業時数) 受業時数 ・実習・実習・実	ングス株式会社 等) 無 評価 ホー 接の授業時数 (東南東東京 東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東	位時間位位時間位時間位時間位時間位時間位時間位時間位時間位時間位時間位時間位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携をした況へんのです。	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から、例えば以下につい 評価団体: ww.neec.ac.jp/der を時間による算定) 総授業時数 うち企 うち企 を数による算定) 総授業時数 うち企 うち企 うち企	第三者評価 で任意記載 のartment/te 業等と連携 修授業時数 うち企ま うち企ま 業等と連携 修修授業時数 うち企ま うち企ま うち企ま うち企ま うち企ま うち企ま	: chnology/ele した実験・実置 した演習の授業 業等と連携した ましたインター した実験・実置 した演習の授業 集等と連携した ましたが、実際・実置 にた演習の授業 ないまする。	受審年月: ctronic/ 『・実技の材 達時数 必修の実影 ・必修の演習 ・一ンシップの 『・実技の材	ホールディン 受業時数 ・実習・実 の授業時数) 受業時数 ・実習・実 の授業時数)	ングス株式会社 等) 無 評価 ホー 接の授業時数 (事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位 位 位 位 位 位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携をした況へんのです。	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から、例えば以下につい 評価団体: ww.neec.ac.jp/der を時間による算定) 総授業時数 うち企 うち企 を数による算定) 総授業時数 うち企 うち企 うち企 うち企	第三者評価 で任意記載 のartment/te 業等と連携 修授業時数 うち企ま うち企ま 業等と連携 修修授業時数 うち企ま うち企ま うち企ま うち企ま うち企ま うち企ま	: : : : : : : : : : : : : :	受審年月: ctronic/ 『・実技の材 達時数 必修の実影 ・必修の演習 ・一ンシップの 『・実技の材	ホールディン 受業時数 ・実習・実 の授業時数) 受業時数 ・実習・実 の授業時数)	ングス株式会社 等) 無 評価 ホー 接の授業時数 (事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事	位時間位位時間位時間位時間位時間位時間位時間位時間位時間位時間位時間位時間位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携をした況へんのです。	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から、例えば以下につい 評価団体: ww.neec.ac.jp/der を時間による算定) 総授業時数 うち企 うち企 を数による算定) 総授業時数 うち企 うち企 うち企 うち企	第三者評価 で任意記載 のartment/te 業等と連携 修授業時数 うち企ま うち企ま 業等と連携 修修授業時数 うち企ま うち企ま うち企ま うち企ま うち企ま うち企ま	: chnology/ele した実験・実置 した演習の授業 業等と連携した ましたインター した実験・実置 した演習の授業 集等と連携した ましたが、実際・実置 にた演習の授業 ないまする。	受審年月: ctronic/ 『・実技の材 達時数 必修の実影 ・必修の演習 ・一ンシップの 『・実技の材	ホールディン 受業時数 ・実習・実 の授業時数) 受業時数 ・実習・実 の授業時数)	ングス株式会社 等) 無 評価 ホー 接の授業時数 (事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位 位 位 位 位 位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携をした況へんのです。	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から、例えば以下につい 評価団体: ww.neec.ac.jp/dep 位時間による算定) 総授業時数 うち企 うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを	第三者評価 で任意記載 のartment/te 業等と連携 修授業時数 うち企 うち企 業等と連携 修好業時数 うち企 ま等と連携 を を ま等と連携 を を ま等と連携 を を まで を まで を まで を まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで	: chnology/ele した実験・実置 した演習の授業 業等と連携した ましたインター した実験・実習 した演習の授業 ないます。 または、これを はいます。 これを とは、これを これを とは、これを これを これを これを これを これを これを これを これを これを	受審年月: ctronic/ 唱・実技の科 素時数 ・必修の実験 ・必修の演習 ・シシップの ・シシップの ・シップの ・変勢の演習 ・シップの ・必修の演習 ・ジャップの	ホールディン 受業時数 ・実習・実 の授業時数) 受業時数 ・実習・実 の授業時数)	ングス株式会社 等) 無 評価 ホー 接の授業時数 (事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位 位 位 位 位 位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携をした況へんのです。	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から、例えば以下に () を (第三者評価 で任意記載 のartment/te 業等と連携 修授 素等と連携 修授 うち企連 企業等と連携 を企業等と連携 を企業等と連携 うち企連 で企業等と連携 でで表述 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき	: chnology/ele した実験・実音 した演習の授 業等と連携した ましたインター した実際の授 業等と連携した まましたインター した大演習の授 まましたインター こたを表 ましたインター こた者である。	受審年月: ctronic/ 『・実技の材 ・実技の材 ・必修の実制 ・・変換の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ホールディン 受業時数 余・実習・実 の授業時数) 受業時数 の授業時数) の授業時数)	ングス株式会社 等) 無 評価 ホー 接の授業時数 (-AベージUR L	事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事	位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携機した況への表である。	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から、例えば以下につい 評価団体: ww.neec.ac.jp/dep 位時間による算定) 総授業時数 うち企 うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを	第三者評価 京で任意記載 のartment/te 業等とと連携 修授業時数 うち企連携 を業等とと連携 の方を企連携 でを事務 の方を企連携 を変するでである。 まずいでは、 の方をでする。 のでするでは、 のでするでは、 のでするでは、 のでするでは、 のでするでは、 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするでするでするでするでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするですでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするですでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするで	: chnology/ele した実験・実音 した演習の授 業等と連携した ましたインター した実際の授 業等と連携した まましたインター した大演習の授 まましたインター こたを表 ましたインター こた者である。	受審年月: ctronic/ 『・実技の材 ・実技の材 ・必修の実制 ・・変換の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ホールディン 受業時数 余・実習・実 の授業時数) 受業時数 の授業時数) の授業時数)	プス株式会社 等) 無 詳値 ホー 説技の授業時数 【	-AベージUR L	東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東	位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携機した況への表である。	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等からい。	第三者評価 おって	: chnology/ele した実験・実音 した演習の授 業等と連携した ましたインター した実際の授 業等と連携した まましたインター した大演習の授 まましたインター こたを表 ましたインター こた者である。	受審年月: ctronic/ 『・実技の材 ・実技の材 ・必修の実制 ・・変換の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ホールディン ・ 実習 時数 ・ 実習 時数 ・ 実習 時数 ・ 実習 時数 ・ 実習 時数 ・ 実習 時数 ・ 実習 で 時数 ・ 実習 で 時数 ・ 実習 で に すいが で に すいが で が で すいが で が で すいが で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ングス株式会社 等) 無 群体 ボー に技の授業時数 は 校設置基準第41条第1項領	- ムベージUR L	単単 単単 単単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単	位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位は位位位位位位位位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をの実施状況 (A Bい人)	■民間の ※有の場合 http://ww (A:単位	評価機関等から、例えば以下にのいます。	第三者評価 のartment/te 業等と連携を 修授業等と連携を うう。等と連携を うう。を 企業等等と連携数の うちと連携を うちと連携を うちと連携を うちと連携を で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	: chnology/ele した実験・実音 した演習の授 業等と連携した ましたインター した実際の授 業等と連携した まましたインター した大演習の授 まましたインター こたを表 ましたインター こた者である。	受審年月: ctronic/ 『・実技の材 ・実技の材 ・必修の実制 ・・変換の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ホールディン 受業時数 余 " ア授業時数 受業時数 会 " ア授業時数 の授業時数 (専修学 (専修学	グス株式会社 等) 無 群体 群体 対の授業時数 (校設置基準第41条第1項9 校設置基準第41条第1項9	- ムベージUR L 第1号)	単単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単	位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等の以上状かかに記入)	■民間の ※有の場合 http://ww (A:単位	評価機関等から、例えば以下につい、	第三者語載 partment/te	: chnology/ele した実験・実習 とした演習の授乳 業等と連携した まり、また。	受審年月: ctronic/ 『・実技の材 ・実技の材 ・必修の実制 ・・変換の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ホールディン 受業時数 余 " ア授業時数 受業時数 会 " ア授業時数 の授業時数 (専修学 (専修学	ングス株式会社 等) 無 群体 ボー に技の授業時数 は 校設置基準第41条第1項領	- ムベージUR L 第1号)	単単 単単 単単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単	位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施状況か に記入)	■民間の ※有の場合 http://ww (A:単位	評価機関等から、例えば以下にのいます。	第三者語載 partment/te	: chnology/ele した実験・実習 とした演習の授乳 業等と連携した まり、また。	受審年月: ctronic/ 『・実技の材 ・実技の材 ・必修の実制 ・・変換の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ホールディン 受業時数 余電の授業時数) 受業時数 ・実習・時数) ・実習・時数) ・実習・時数) (専修学	グス株式会社 等) 無 群体 群体 対の授業時数 (校設置基準第41条第1項9 校設置基準第41条第1項9	第1号) 第2号) 第3号)	単単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単	位時間 位位時間 位位時間 位位時間 位位時間 位位時間 位位時間 位位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と実等等の良いでは、「に記入」	■民間の ※有の場合 http://ww (A:単位	評価機関等から、例えば以下につい、	第三者語載 partment/te	: chnology/ele した実験・実習 とした演習の授乳 業等と連携した まり、また。	受審年月: ctronic/ 『・実技の材 ・実技の材 ・必修の実制 ・・変換の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ホールディン 受業時数 ・実習・時数 ・実習の授業時数) ・実習・時数) ・実習・時数) ・実習・時数) ・実習の授業時数) ・実習の授業時数) ・実習の授業時数) ・実習の授業時数)	プス株式会社 等) 無 群 (表表の授業時数 (表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	第1号) 第2号) 第3号)	単単 単単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単	位時間 位位時間 位位時間 位位時間 位位時間 位位時間 位位時間 位位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と実等等の良いでは、「に記入」	■民間の ※有の場合 http://ww (A:単位	評価機関等下にのい。 評価団体: ww.neec.ac.jp/def chelle	第三者語載 partment/te	: chnology/ele した実験・実習 とした演習の授乳 業等と連携した まり、また。	受審年月: ctronic/ 『・実技の材 ・実技の材 ・必修の実制 ・・変換の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ホールディン 受業時数 ・実習・時数 ・実習の授業時数) ・実習・時数) ・実習・時数) ・実習・時数) ・実習の授業時数) ・実習の授業時数) ・実習の授業時数) ・実習の授業時数)	プス株式会社 等) 無 群体 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	第1号) 第2号) 第3号)	単単 単単 単単 単単 単単 単 単 単 1 3 人 3 人 2 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	位時間 位位時間 位位時間 位位時間 位位時間 位位時間 位位時間 位位時間	
学校評価 当該学科のホームの は NRL と連携機関した状況 に記入)	■民間の ※有の場合 http://ww (A:単位	評価機関以下に、例えばは以下に、例えばは以下に、例えばは以下に、例えばは以下に、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは	第三者語載 partment/te	: chnology/ele した実験・実習 とした演習の授乳 業等と連携した まり、また。	受審年月: ctronic/ 『・実技の材 ・実技の材 ・必修の実制 ・・変換の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ホールディン 受業時数 ・実習・時数 ・実習の授業時数) ・実習・時数) ・実習・時数) ・実習・時数) ・実習の授業時数) ・実習の授業時数) ・実習の授業時数) ・実習の授業時数)	プス株式会社 等) 無 群体 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	第1号) 第2号) 第3号)	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	位時間 位位時間 位位時間 位位時間 位位時間 位位時間 位位時間 位位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と実等等の実施がれか に記入)	■民間の ※有の場合 http://ww (A:単位	評価機関以下: ww.neec.ac.jp/dep ww.neec.ac.jp/dep ph	第三者評価 かartment/te 業業等と連携 修授 うち企連 企業等とと連携 を企業等とと連携 を企業等とと連携 のする企連 企業等とと連携 のする企連 企業等とと連携 のする企連 企業等ととを修養 のする企連 でまる。 でまる。 でまる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	: chnology/ele	受審年月: ctronic/ 『・実技の材料を必修の実演習 の の必修の実演習 の の必修の実演習 の の必修の実演習 の の必修の実践 の ののでは、 のの	ホールディン ・ 実	プス株式会社 等) 無 群体 ボー はの授業時数 (な設置基準第41条第1項9 校設置基準第41条第1項9 校設置基準第41条第1項9 校設置基準第41条第1項9	第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	位使時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間	
学校評価 当該学科のボームページ URL と実等等の実施がれか に記入)	■民間の ※有の場合 http://ww (A:単位	評価機関以下: ww.neec.ac.jp/dep ww.neec.ac.jp/dep ph	第三者記載 partment/te 業業等とと連携勝数 うちと・連携勝数 企業等とと連携勝数 合企 企業等とと連携時数 合うな企連携時数 合金 企業 できる きょう ない まま できる は 専門育とる 有 等経専門職 学生 は 専門職 学生 は 専列 教養 教養 教養 教養 教養 教養 教養 ない こうちょう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこ	: chnology/ele した実験・実装 業	受審年月: ctronic/ 『・実技の材料を必修の実演習 の の必修の実演習 の の必修の実演習 の の必修の実演習 の の必修の実践 の ののでは、 のの	ホールディン ・ 実	プス株式会社 等) 無 群体 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	位使時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針 電気主任技術者の養成を目的とし、電気設備管理業務を実践する企業・団体より最新技術や設備状況の助言を受け、業界が求める人材像の把握と学生時代に習得すべき知識や技術を整理し、授業カリキュラムや授業・実習へ反映させる。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は、校長を委員長とし、副校長、カレッジ長、学科責任者、教育・学生支援部員、学科から委嘱された業界団体及び企業 関係者から各3名以上を委員として構成する。

本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および演習、実習、インターンシップおよび学内または学外研修、 進級・卒業審査等に関する事項、自己採点・評価に関する事項、その他、企業・業界団体等が必要とする教育内容について審議する。審議の 結果を踏まえ、校長、副校長、カレッジ長、学科責任者、教育・学生支援部員で検討し次年度のカリキュラム編成へ反映する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

		l1	和/午4月1日現在
名 前	所 属	任期	種別
佐藤 孝幸	一般財団法人関東電気保安協会	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	1
並河 宏明	株式会社教育施設研究所	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	3
磯 剛規	株式会社城南サービス	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	3
千田 浩史	太平ビルサービス株式会社	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	3
中村 英詞	日本工学院専門学校 校長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_
川村 公二	日本工学院専門学校 テクノロジーカレッジカレッジ長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_
渡邉 和之	日本工学院専門学校 テクノロジーカレッジ 電子・電気科 科長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_
大塚 勝哉	日本工学院専門学校 教育·学生支援部 課長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「ー」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
 - 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年度毎開催数は2回、開催時期は8月及び3月を予定

(開催日時(実績))

2024年8月

2025年3月

0

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

電気設備に関する知識だけでなく、建物が完成するまでの流れも理解しておいたほうが良いとの意見をいただき、電気設備科目に設備設計 に関する単元も加えた。

- 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

電子・電気分野に関する実践的な実習や演習を行うため、教育内容に関するノウハウや最新技術の動向における助言、又は技 術指導などを受けられる企業を選定する。

- (2)実習・演習等における企業等との連携内容
- ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
- 本校の電気設備管理を委託している企業にご協力いただき、特別高圧受変電設備の見学、電気設備点検方法等を学ぶよう実践 的な実習内容に変更した。

(3)具体的な連携の例※	科目数については代表的な5科目について記載。		
Г	科 目 名	科 目 概 要	連携企業等	
	1テクノロジー実習	第一性电気主性技術有認定必須付日 電気回路の基礎や各種測定器などの電気技術に関する 知識 を 実験を通じて検証します	(株)城南サービス コヤマケンタロウデザイン事務	
	2電気製図	第二種電気主任技術者認定必須科目 電気機器や屋内配線図などをCADで作成します。また、部 品や材料、作業量などより積算を行い、見積もり表を作成 LPC能力も磨きます。	(株)城南サービス コヤマケンタロウデザイン事務	
	3			
	4			
	5			

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、企業等連携研修関する規定における目的に沿い、学科の内 容や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能、人間力を修得する。また、学校全体の教員研修を実施することにより、学生 指導力の向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させる。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

「現場見学および業務に関するヒアリング」 連携企業等:太平ビルサービス(株) 研修名:

期間: 対象: 電子・電気科教員

管理業務を請け負っている施設に関して、電気設備、空調設備(冷暖房、省エネ、CO2削減)、給・排水設備、防災設備

内容 ^{内谷} 等を見学させていただき、防災センターの機能に関して説明を受けた。 ②指導力の修得・向上のための研修等

パナソニックセンター東京見学 連携企業等: (株)パナソニック 研修名:

期間: 2024年8月 対象: 電子・電気科教員

「学生たちの創造性と探求心を育む」をコンセプトとした体験学習をもとに、これからの時代に必要な資質や技術・能力 内容

を養う事を学ぶための研修を実施。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

「オフグリッド体験パーク」見学 連携企業等: (株)アーキンド 研修名:

2025年12月~2026年2月 対象: 電子・電気科教員 期間:

オフグリッド型モビリティーが集結する「オフグリッド体験パーク」を見学し、電気設備の設計・管理・施工を担った企業よ 内容

りお話を聞くことにより、変遷していく中での電子・電気技術の重要性を確認する。

②指導力の修得・向上のための研修等

合理的配慮の現状と対応 連携企業等:日本工学院教育学生支援部、ヘルスサポートセンター 研修名:

期間: 2025年7月 対象: 全教職員

合理的配慮申請の現状と、教職員として大切なこと(基本姿勢、具体的な行動、心がけること)を学んだ。 内容

「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに 当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、 客観性や透明性を高める。学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係団体の関係者等で学校関係 者評価委員会を設置し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生かして、教育目標や教育環境等について評価 し、その評価結果を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性や指導力向上を図る。また、学校関係者への理解促進や連携協 力により学校評価による改善策などを通じ、学校運営の改善の参考とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念•目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。 (3)学校関係者評価結果の活用状況

精神面による体調不良に悩む学生に対しての当校のサポート体制について委員に現状を説明したところ、多くの委員から以下のご意見を頂

- ・企業内でも新入社員など若手が精神面による体調不良で就業に影響が出るケースが増えている。
- ・原因の一つとして、コロナ禍にあったここ数年で学生時代に人間関係構築の場が少なかった事も影響があるのではないか。 以上のご意見を踏まえ、当科では以下のように活用していく。

- ・在学中のみならず学生が社会に出てからも心身ともに健康に生活できるよう、学生時代にしか経験できない人間関係構築の場をより多くつ くり、学業以外のイベントや部活動等に対しても支援に努めていく。
- ・当校には専門的な知識と経験を持つスタッフが在中するヘルスサポートセンターがあり、当科の担任は悩みを持つ学生に対して、ヘルスサ ポートセンターとの連携をより強め、安心して学生生活を送れるよう支援に努めていく。
- (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
桂田 忠明	セントラル電子制御株式会社 最高顧問	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	IT企業等委員/卒業生委員
正木 英治	株式会社マックス 専務取締役	~令和8年3月31日(1年)	地域関連/ 会計専門委員
壺阪 敏秀	株式会社テレビ神奈川 取締役・編成局長兼 報道局長	で 市和6年3月31日(1年)	クリエイターズ企業等委員
小澤 賢侍	CG-ARTS協会(公益財団法人 画像情報教育振興協会)		クリエイターズ/デザイン企 業等委員
吉崎 彰	一般社団法人 大田工業連合会 事務局長 一般社団法人コンサートプロモーターズ協会	~令和8年3月31日(1年)	テクノロジ ー 企業等委員
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 <u>事務局長</u>		ミュージック 企業等委員
宮地 裕	学校法人上野塾 東京実業高等学校 進路指導部部長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	学校関連

))

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: https://www.neec.ac.jp/public/

公表時期: 令和7年9月30日 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供 していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が抱える課題・問題等に関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。また、私立学校の定めに基づき「財産目録」「貸借対照表」「収支計算書」「事業報告書」「監事による監査告」の情報公開を実施している。公開に関する事務は法人経理部において取扱い、「学校法人片柳学園 財務情報に関する書類閲覧の相に基づいた。理用を実施している。 覧内規」に基づいた運用を実施している。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(2)各学科等の教育	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
(3)教職員	教員·教員組織
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職等進路、学外実習・インターンシップ等
(5)様々な教育活動・教育環境	施設•設備等
(6)学生の生活支援	中途退学への対応、学生相談
(7)学生納付金・修学支援	学生生活、学納金
(8)学校の財務	財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書
(9)学校評価	学校評価
(10)国際連携の状況	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(11)その他	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿

))

※(10)及び(11)については任意記載。 (3)情報提供方法

URL:

(ホームページ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

https://www.neec.ac.jp/public/

公表時期: 令和7年9月30日

授業科目等の概要

				課程 電子・電	気科電気工学コース)											
	:	分類	Į						授	業フ	5法	場	所	教	員	
		必	由	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演習	実験・実習・実技		校 外			企業等との連携
1	0			ビジネススキ ル	仕事についての基礎知識などを養い、ビジ ネス能力を総合的に高めるためのトレーニ ングをします。	1 • 後	30	2	0			0		0		
2	0			キャリアデザ イン 1	就職に必要なマナーや一般常識などを学び ます。	1 • 前	30	2	0			0		0		
3			0	英語 1	英会話を中心に、テクノロジー分野の英語 表現力の基礎を学びます。	1 • 前	30	2	0			0			0	
4	0			テクノロジー 基礎 1	テクノロジーの基礎知識や計算手法につい て学びます。	1 • 前	60	4	0			0		0		
5	0				サイエンスの知識として、物体の運動や力 などについて学びます。	1 • 前	60	4	0			0			0	
6	0			電気回路 1	直流回路などの電気回路について学びま す。	1 · 前	60	4	0			0			0	
7	0			電気回路2	交流回路の考え方、法則、計算方法などに ついて学びます。	1 · 後	60	4	0			0			0	
8	0			電子回路 1	アンプなど電子機器の原理や動作について 学びます。	1 · 前	60	4	0			0		0		
9	0			電磁気 1	電界や磁界などについて学びます。	1 • 前	60	4	0			0		0		
10	0			電磁気2	電磁誘導、インダクタンス、電磁波につい て学びます。	1 • 後	60	4	0			0		0		
11	0			電磁気測定 1	単位や電圧計・電流計など各種測定器、測 定法などの基礎を学びます。	1 · 前	60	4	0			0		0		
12	0			電磁気測定 2	単位や電圧計・電流計など各種測定器、測 定法などの応用を学びます。	1 · 後	30	2	0			0		0		

13	0		電気機器 1	電気機器の仕組みや動作原理、構造などに ついて学びます。	1 • 後	60	4	0		0			0	
14	0			モーターの動作原理や種類などの基礎技術から最新技術までを学びます。	1 . 後	30	2	0		0			0	
15	0			信号機などに利用されている自動制御の基 礎知識を学びます。	1 • 後	30	2	0		0			0	
16	0		デジタル回路 1	2進法や基礎論理回路、各種デジタル回路 について学びます。	1 • 後	30	2	0		0		0		
17		0		第二種電気工事士、2級ボイラー技士など 現場で役立つ実用資格を学びます。	1 · 前	30	2	0		0			0	
18		0		危険物取扱者など現場で役立つ実用資格を 学びます。	1 · 後	30	2	0		0		0		
19		0	ネルギー概論	電気エネルギーやガスエネルギーについて、単位系や熱・燃焼などエネルギーの基 礎を学習します。	1 • 前	30	2	0		0			0	
20		0	ネルギー概論	電気エネルギーやガスエネルギーについて、単位系や熱・燃焼などエネルギーの基 礎を学習します。	1 · 後	30	2	0		0			0	
21	0		テクノロジー 実習	電子・電気系の基礎技術に関する実験を行います。	1 · 前	60	2		0	0		0	0	0
22	0		基礎実験	電気回路の基礎や各種測定器などの電気技 術に関する実験を行います。	1 • 後	60	2		0	0		0	0	0
23	0		電気実習 1	屋内電気配線などの実習を行います。	1 · 後	60	2		0	0		0	0	0
24		0	スポーツ実習 1	集中授業としてスキー、スノーボード教室 等を実施します。	1 • 後	30	1		0		0	0		
25		0	インターン シップ1	企業研修で実際の現場を学び、実践力のス キルを高めます。	1 • 通	30	1		0		0		0	0
26	0		キャリアデザ イン2	社会人として必要な知識や自己表現力などを学びます。	2 • 前	30	2	0		0		0		
27		0	英語 2	英会話を中心に、テクノロジー分野の英語 表現力の応用を学びます。	2 • 前	30	2	0		0		0		

28	0		発変電技術	水力発電や火力発電、新エネルギーまでを 学びます。	2 · 前	60	4	0		0		С	
29	0		電気機器 2	モーターなどのパワーエレクトロニクスに ついて学びます。	2 · 前	30	2	0		0		С	
30	0		電気法規	電気設備技術基準や電気事業法など電気に 関する法律を学びます。	2 • 前	30	2	0		0		С	
31	0		電気施設管理	電気設備を管理する上で必要な電力供給な どについて学びます。	2 • 前	30	2	0		0		С	
32	0		シーケンス応 用	自動制御装置の設計法などについて学びます。	2 · 前	30	2	0		0		С	
33	0		電気材料	絶縁材料や導電材料などについて学びま す。	2 · 後	30	2	0		0	()	
34	0		送配電テクノ ロジー	電気が送られる送電や配電などについて学 びます。	2 · 後	60	4	0		0		С	
35	0		通信システム 1	電気通信の基礎から通信品質や変調方式、 光ファイバなどについて学びます。	2 • 前	30	2	0		0		С	
36	0		通信システム 2	データ通信システムやオンライン処理、 ネットワーク技術などについて学びます。	2 • 前	30	2	0		0		С	
37		0	照明デザイン	暮らしに必要な照明について、光源や照明 の設計などについて学びます。	2 • 後	60	4	0		0		С	
38		0	鉄道技術	鉄道技術として、電車の仕組みや運行シス テムなどについて学びます。	2 • 前	30	2	0		0	()	
39		0	高圧電気技術	放電現象や落雷など高圧電気を安全に扱う 技術について学びます。	2 • 後	30	2	0		0		С	
40		0	高圧電気技術	放電現象や落雷など高圧電気を安全に扱う 技術について学びます。	2 • 後	30	2	0		0		С	
41		0	電気機器設計	電気機器である変圧器やモーターなどについて、その設計法を学びます。	2 • 後	30	2	0		0		С	
42		0	電気応用	電池や蓄電池などについて学びます。	2 · 後	30	2	0		0		С	

		1	合言	<u></u>	54		<u> </u> 科目		1	30 (2280)	上 単	立 (単位	時間	引)
54		C	0	インターン シップ2	企業研修で実際の現場を学び、実践力のス キルを高めます。	2 • 通	30	1			0		0		0	0
53		C	O	 スポーツ実習 2	スキー&スノーボード教室などを実施しま す。	2 • 後	30	1			0		0	0		
52	0			電気製図	電気機器や配線図などを製図します。	2 • 後	60	2			0	0		0		0
51	0			電気応用実験 2	発電機や自動制御システムなどについて実 験します。	2 • 後	120	4	0			0		0	0	
50	0			電気応用実験 1	モーターや送電システム、照明機器などに ついて実験します。	2 • 前	60	2	0			0		0	0	0
49	0			電気実習 2	屋内電気配線などの実習を行います。	2 • 前	60	2	0			0		0	0	
48			O	ガスエネル ギー実習 2	コージェネレーションに関するシステムや 実運用、周辺機器の取扱い方法などについ て実習を通して学びます。	2 • 後	30	1	0				0		0	
47		C))	ガスエネル ギー実習 1	ガスエネルギー技術を習得する上で必要な各種測定器やガス関連機器の構造や設備などについて実習を通して学びます。	2 • 後	30	1	0				0		0	
46		C			電気やガスに関わる設備からエネルギー効率、保安・防災などに関する応用技術を学習します。	2 • 後	30	2	0			0			0	
45		C	0	電気・ガスエ ネルギー技術 1	電気やガスに関わる設備からエネルギー効率、保安・防災などに関する基礎技術を学習します。	2 • 後	30	2	0			0			0	
44		C	O	資格対策講座 4	消防設備士など現場で役立つ実用資格を学 びます。	2 • 後	30	2	0			0			0	
43		C	O	資格対策講座 3	冷凍機械責任者など現場で役立つ実用資格 を学びます。	2 • 前	60	4	0			0			0	

卒業要件及び履修方法	授業期間等	Ī
卒業時に必修科目1,560時間(88単位)、選択科目210時間(14単位)以上を 取得し、合計1,770時間(102単位)以上を取得すること。	1 学年の学期区分	2 期

1年次は必修900時間、選択科目30時間以上履修すること 2年次は必修660時間、選択科目180時間以上履修すること 選 1 から30時間以上、選 2 から180時間以上、選 3 は授業時間割外で実施する ・電気工学専攻 1年次は選択 1 の中の資格対策講座 1、2を選択すること。 2年次は選択 2 の中の鉄道技術、高圧電気技術、電気機器設計を選択する こと。 ・エネルギー管理士専攻 1年次は選択 1 の中の電気・ガスエネルギー概論 1、2を選択すること。 2年次は選択 2 の中の電気・ガスエネルギー技術 1、2、ガスエネルギー実習 1、2を選択すること。

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。